

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
分担研究報告書

肝炎コーディネーターへの効果的な啓発を目的とした
アンケート調査

研究分担者 四柳 宏 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野教授

研究要旨

【背景】厚生労働省研究班で作成した感染対策ガイドライン（一般生活者向け・保育施設勤務者向け・老人保健施設勤務者向け）を肝炎コーディネーターに役立つものにするのが本研究班にとって大切である。【方法】肝炎コーディネーターが対応に苦慮する可能性のある感染対策について質問紙を用いたアンケート調査を行った。【結果】研究班員の所属する 14 都道府県の肝炎コーディネーターに対するアンケートを実施した。現在集計作業を行っており、2018 年春までには結果がまとまる予定である。

【結語】全国の肝炎コーディネーターの感染対策に関する調査を行なった。これをもとに今後ガイドラインの改定、現場で使いやすい縮刷版の作成などを予定している。

A．研究目的

本分担研究者（四柳）が 2012 年度から 2014 年度まで主任研究者を務めた“ 集団生活の場における肝炎ウイルス感染予防ガイドラインの作成のための研究班 ” では一般生活者・保育関係者・老人施設関係者に対するガイドラインを作成した。このガイドラインは厚生労働省・肝炎情報センターのウェブサイトに掲載され、活用されていることが期待されるが、肝炎コーディネーターが使用することを念頭に作成したものではない。従ってコーディネーターのニーズを満たすガイドラインに改定することが望ましい。そのため今年度はコーディネーターに対するアンケート調査を行うこととした。

B．研究方法

ガイドラインに書かれた内容をもとにアンケート調査案を作成し、班員（江口有一郎 研究者代表者・岩根紳治 事務局員・八橋弘 班員・米

澤敦子 班員）の協力のもと調査票を作成した。調査票は研究班の班会議で開示し、協力を要請した後、班員の所属する拠点病院に送付し、現場のコーディネーターへの配布を依頼した。

C．研究結果

作成したアンケート案を（図）に示す。コーディネーターの職業は多種多様であり、職種による肝炎の感染経路に対する認知状況を知らるために職種を記入して頂く設計にした。

感染経路に関しては実際に患者さんに尋ねられたことがあるか、尋ねられたら困るか（正確な知識を持ち、説明できるか）の 2 つに関して質問した。質問項目に関しては、感染経路そのものに対する知識に加え、対応によっては偏見・差別の原因になる事項を盛り込んだ。

アンケートは 14 都道府県の拠点病院からの配布をお願いした。2018 年 3 月現在データの取りまとめを行なっている。

(図1)

ウイルス肝炎の“感染”に関するアンケート

ウイルス肝炎の“感染”に関するアンケート

肝炎医療コーディネーターの方の研修用に使って頂く教材(できればウェブなどで使っていただけるもの)を作成しようと思っております。
つきましては以下のアンケートにご協力頂ければ幸いです。
アンケートに関しましては、江口班(佐賀大学)で回収し、施設情報・個人情報を削除し、集計致します。締め切りは2018年3月15日とさせていただきます。
なお、このアンケートは肝炎医療コーディネーターの方がお答えください。

- (1) あなたの所属する施設のある都道府県をお書きください。
() 都・道・府・県
- (2) あなたの職種は何でしょうか。該当するものに○をつけてください。
1 看護師(医院・病院・職域・その他()) (病棟・外来・その他())
2 保健師(職域・県・市町村・その他())
3 事務職員
4 その他()
- (3) “あなたが患者さんから尋ねられた時に困る”もの、“実際に患者さんから尋ねられたことがあるもの”に○をつけてください。

項目	患者さんから 尋ねられた時に困る	患者さんから 尋ねられたことがある
例 あなたの年齢はいくつですか?	○	
1 B型肝炎への感染は日常生活(感染者と一緒に食事・入浴・スポーツなどを)で起きますか?		
2 C型肝炎への感染は日常生活(感染者と一緒に食事・入浴・スポーツなどを)で起きますか?		
3 B型肝炎で抗ウイルス薬を飲んでいる時でも他の人への感染は起きますか?		
4 C型肝炎の抗ウイルス薬治療を受け、医師からはウイルスは消えたと言われましたが、“治った”ということでしょうか?		
5 子どもがB型肝炎に感染しています。保育園/学校に話した方がよいでしょうか?		
6 子どもがC型肝炎に感染しています。保育園/学校に話した方がよいでしょうか?		

7 自分はB型肝炎ウイルスに感染しています。職場でどのようにすればよいでしょうか?		
8 自分はC型肝炎ウイルスに感染しています。職場でどのようにすればよいでしょうか?		
9 自分はB型肝炎ウイルスに感染しています。医療機関にかかる際にどのようにすればよいでしょうか?		
10 自分はC型肝炎ウイルスに感染しています。医療機関にかかる際にどのようにすればよいでしょうか?		
11 職場や学校で偏見・差別があります。どうしたらよいでしょうか?		
12 自分はB型肝炎キャリアです。家族にワクチンを打った方がよいでしょうか?		

- (4) 上記(3)以外に受けた質問や対応に困った事例を記載してください。(他の肝炎医療コーディネーターに知ってほしい患者さんからの質問など)
- (5) あなたは「ウイルス肝炎感染防止ガイドライン」(下記の図)(<http://www.kanen.ncgm.go.jp/cont/050/yobou.html>に掲載)に関して、あてはまるものに○をつけてください。



1. 参考にしたことがある
 2. 見たことがあるが参考にしたことはない
 3. 名前を聞いたことはあるが見たことはない
 4. 名前を聞いたこともない
- (6) その他“肝炎ウイルスの感染”についてご質問、ご意見があればご自由にお書き下さい。

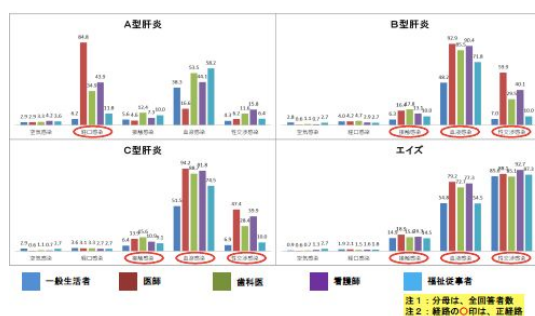
ご協力ありがとうございました。
厚生労働行政推進調査事業(肝炎等克服政策研究事業)
「肝炎ウイルス検査受検から感染、治療に至る
肝炎対策の効果検証と拡大に関する研究」

研究代表者 江口 有一郎(佐賀大学医学部附属病院 肝炎センター)
研究分担者 四柳 宏(東京大学医学部附属病院 感染免疫内科)

D. 考察

本研究分担者の研究班では医療従事者に対する感染経路認識度の調査を行なっている(図2)。B型肝炎・C型肝炎が輸血で感染していることを認知していても接触や性交渉で感染することに関する認知度は低く、福祉施設勤務者では一般生活者と同様である。コーディネーターの中には職域の保健師や事務職員も含まれることからこうした人に対する啓発は重要である。

(図2) 医療従事者の感染経路に関する知識



他方、医療従事者に関しては“中途半端な知識は偏見・差別の原因となり得る”ことも指摘されており(図3)、リスクのある行為とそうでない行為をわかりやすく示す(図4)も必要である。

(図3)

一般生活者と医療従事者の認識の違い

	医療福祉従事者	一般の方
B型・C型肝炎の認知状況	B型肝炎、C型肝炎の認知率は100%、8割以上の人が感染であることを認識。	B型肝炎、C型肝炎ともに9割以上の人が認知している。ただし、その過半数は病気の名称しかわからない。
感染経路	B型・C型肝炎は血液感染であると約9割が回答。性交渉により感染すると回答している人もB型・C型肝炎ともに4割程度存在。	B型・C型肝炎を認知している者の約4割が感染経路はわからないと回答している。血液感染であると回答している人は約5割。
感染症に対するイメージ(感染者の特性や病気の性質)	一般生活者と同様に、B型・C型肝炎は「恐ろしい」「治りにくい」「治療に費用がかかる」イメージである。B型肝炎がワクチンで予防ができると思っている人は39%しかない。	B型・C型肝炎についてのイメージは類似しており、主に「恐ろしい」「治りにくい」「治療に費用がかかる」イメージ。B型肝炎がワクチンで予防ができると思っている人は5%しかない。
患者さんに対するイメージ	治療や通院、生命保険加入が大量で、治らない恐ろしい病気にかかっているイメージ。「患者の恋人や配偶者になるのはこわい」「性交渉を通じて感染したのだろうか」という感じや「他の人に知らせて感染が広がらないようにすべき」「他の人にとつと知らせた方がよい」という人の割合は一般生活者よりも高い。	B型肝炎とC型肝炎の患者さんに対するイメージは類似しており、治療や通院、生命保険加入、体調保持が大量で恐ろしい病気にかかっているイメージを抱いている。

(図4)

リスクのある行為とない行為



次年度はアンケート調査の結果に基づきコーデフィネーター用のガイドライン縮刷版のようなものを作成する予定である。

E . 結論

全国の肝炎拠点病院を通じて肝炎コーディネーターに対する感染経路調査を行なった。

F . 研究発表

1 . 論文発表

(1) Yamada N, Sugiyama R, Nitta S, Murayama A, Kobayashi M, Okuse C, Suzuki M, Yasuda K, Yotsuyanagi H, Moriya K, Koike K, Wakita T, Kato T. Resistance mutations of hepatitis B virus in entecavir-refractory patients. *Hepatol Commun.* 2017;1:110-121.

(2) Tsutsumi T, Okushin K, Enooku K, Fujinaga H, Moriya K, Yotsuyanagi H, Aizaki H, Suzuki T, Matsuura Y, Koike K. Nonstructural 5A Protein of Hepatitis C Virus Interferes with Toll-Like Receptor Signaling and Suppresses the Interferon Response in Mouse Liver. *PLoS One.* 2017 Jan 20;12(1):e0170461. doi: 10.1371/journal.pone.0170461. eCollection 2017.

(3) Ikeda H, Watanabe T, Okuse C, Matsumoto N, Ishii T, Yamada N, Shigefuku R, Hattori N, Matsunaga K, Nakano H, Hiraishi T, Kobayashi M, Yasuda K, Yamamoto H, Yasuda H, Kurosaki

M, Izumi N, Yotsuyanagi H, Suzuki M, Itoh F. Impact of resistance-associated variant dominance on treatment in patients with HCV genotype 1b receiving daclatasvir/asunaprevir. *J. Med Virol.* 89, 99-105, 2017.

2 . 学会発表

なし

G . 知的所有権の取得状況

なし

1 . 特許取得

なし

2 . 実用新案登録

なし

3 . その他

なし

